

■報告

2009年度 教育開発支援機構 FD 推進センター主催 「第3回FDフォーラム」を開催

12月12日(土)、市ヶ谷キャンパス外濠校舎3階S305教室で「第3回FDフォーラム」が開催されました。現在、高等教育機関では「教育の質の向上」を目指して様々なFD活動が展開されていますが、学生・職員・教員の相互協力によるFDへの取り組みも積極的に行われつつあり、今回のフォーラムでは、「学生・職員・教員によるFD改善とは」をテーマとしました。

フォーラムは、徳安彰常務理事のご挨拶で始まり、第一部では、立命館大学共通教育推進機構教授・教養教育センター副センター長の木野茂氏による「学生とともに作る授業、学生とともに進めるFD」と、岡山大学教育開発センター教授・FD部門長の橋本勝氏による「岡山大学における学生参画型教育改善」のダブル基調講演の後、立命館大学産業社会学部3回生で、同大学学生FDスタッフ代表の太田郁磨さんから「立命館大学学生FDスタッフの活動紹介」を、岡山大学文学部2回生で同大学学生・教職員教育改善委員会委員長の中里祐紀さん、同文学部1回生で同委員会委員の高橋和さんのお二人からは「岡山大学学生・教職員教育改善委員会の活動紹介」をそれぞれ発表していただきました。

第二部では、法政大学の事例紹介として、多摩事務部スポーツ健康学部事務課職員の須藤智徳さんが「スポーツ健康学部での授業改善への取り組み」を、また、社会学部の大崎雄二教授(社会学部FD委員会2009年度委員長)から「社会学部でのFDへの取り組み」を講演していただきました。学生からは、社会学部3年(同学部研究発表会2009年度運営委員会委員長)の岡田拓也さんが「学生FDサミットに参加して」と題して発表しました。

第二部後半のパネルディスカッションは、キャリアデザイン学部の坂本旬教授(FD推進センター学習・教育支援プロジェクトリーダー)の司会により、出演者と、全国44の大学や企業の方、学内からの多数の参加者の間で活発な質疑応答・意見交換が行われました。

続いて58年館2階の教職員食堂を会場とした情報交換会にも、大勢の方が参加され、出演者の方々をはじめ、学生・職員・教員間の隔りなく、今後のFDについて等々の和やかな歓談が行われました。今回は、学生の参加も多かったことで活気溢れる情報交換会となりました。

法政大学は、2009年11月に教育開発支援機構を設置し、FD推進センターは現行組織のまま機能強化を図り、同機構内のセンターとなりました。

今後も引き続き、本学でのFD支援を推進していく所存ですので、シンポジウムやフォーラムへのご参加及び本センターへのご協力をよろしくお願いいたします。